

総合支援学校 全学部
特別活動（学校行事等）

キーワード 視覚的な支援
プレゼンテーションソフトウェア

「見通しのもてる集会活動」

1 活動の目的等

目標

児童生徒が見通しを持って集会活動に参加できるようにし、視覚的な支援を手がかりに自分で判断して行動できるようにする。

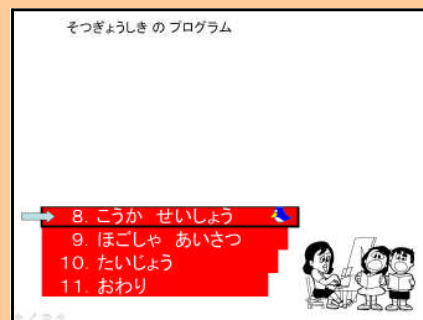
対応する学習指導要領の内容

教科・領域等	内容等
自立活動（心理的な安定）	・状況の変化への適切な対応に関すること。

2 展開の実際

プレゼンテーション画面と指導上の留意点

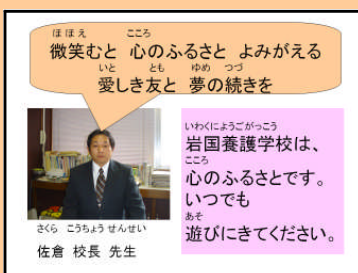
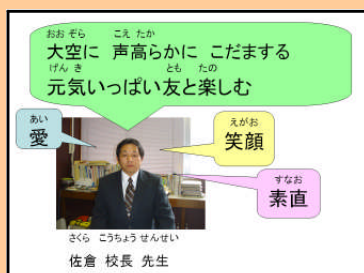
提示用プレゼンテーションの事例1（卒業式プログラム）



- ・児童生徒が座っている位置から見えやすい場所に大きなスクリーンを設置し、卒業式次第（プログラム）を呈示した。
- ・進行状況が分かりやすいように、終わった次第（プログラム）の項目を順次消していき、今行われている項目を矢印で示すとともに、太枠で囲んだ。
- ・今行われている項目に合わせた動画を画面の右側に入れることで、時間が流れていることを視覚的に示す。
- ・残りの内容や残り時間の量を目に見えるようにすることで、見通しをもちやすいようにする。

提示用プレゼンテーションの事例2（卒業式校長式辞）

- ・式辞や贈る言葉など、お話に合わせてその内容を提示し、意味が分かるようにする。
- ・話の終わりの時にも必ず文字情報として「おわり」を示す。



3 情報機器等の活用の工夫

【アイデア】

全校集会や卒業式などの集会活動で、「会の進行が今どの段階にあるのか」「今から行われる内容は何か」等を大型画面に提示することができれば、児童生徒が見通しを持って活動に参加できるようになると考えた。

【メリット】

プレゼンテーションソフトウェアを活用すれば、集会の進行具合や内容をリアルタイムに提示でき、図形的に時間の流れがわかりやすく提示することができる。

視覚的支援によって、児童生徒が自分の判断で内容を理解し、落ち着いて集会活動に参加することができるようになる。

【視覚的支援を使う】

本事例には、「視覚的支援を使う」という意図がある。これは、言葉のとおり「できる限り児童生徒が見通しをもって式に参加できるように、視覚的にわかりやすくしたい。」ということである。考えてみると、私たち教師は、事前に要項で式の内容について理解して当日の式に臨んでいるが、要項もなく、内容の見通しが無いまま式に臨めば、大人でもきっと落ち着かない気持ちになってしまうのではないと思う。今から何があるのか、どうなったら終わるのか、残りはどのくらいの時間なのか、という見通しをもつことが困難な児童生徒にとっては、落ち着いて式に参加することが難しいと考えた。そこで、児童生徒の立場に立って、参加しやすくなるような支援を検討した。

【視覚的支援を教える】

二つ目の意図として、「視覚的支援を教える」ことがある。児童生徒のスキルとして、「視覚の手がかりをもとに自分で判断していく」という姿勢を育てたいということである。学校生活の多くの場面で視覚的支援を設定し、自分の力で視覚的な手がかりを見つけ、使えるように指導していくという意図も含めている。児童生徒が自発的に視覚的な手がかりを探すことを促すため、慣れない場面で、視覚的な手がかりを探さなければならない状況を設定した。今後も、学校生活全体の中で、視覚的な手がかりや視覚的な指示を基に、自分で判断して行動していける状況づくりを進めていく必要があると考えている。

4 情報機器等の活用の効果

【分かりやすい集会活動】

全校集会などでこのような視覚的支援の活用を進める中で、児童生徒も徐々に慣れてきて、スクリーンをよく見るようになってきた。卒業式では、スクリーンをステージ中央に配置することにより、話す人とスクリーンが視野に収まり、顔（視線）を動かさなくても見えるので、意識を集中することができた。

また、児童生徒の実態に合わせた教師の言葉かけにより、多くの児童生徒が見通しをもって参加できるようになり、「あと3つで終わり」、「次は、」などと教師に話しかける児童生徒も現れてきた。卒業式後のアンケートにも「式の流れや見通しがもてるようになってよかった」、「是非、続けていくべきである」などの意見が多く寄せられた。

これらの支援をきっかけに、普段の授業でも予定や流れを黒板や紙に書いて最初に生徒へ知らせたり、小さなカード等を利用したそのほかの簡単な視覚的支援をしたりするなど、ちょっとした支援や配慮により効果が現れる場面が増えてきたように思われる。

【児童生徒が自ら手がかりを見つける集会活動】

二つ目の意図である児童生徒が視覚的な手がかりを探すということについては、今後の課題となっており、より意図的な授業や活動の構想と展開を心がけ、実践・検証を行うといった、校内授業研修を充実していく必要があると考えている。



【全校集会の様子】